横浜共生会

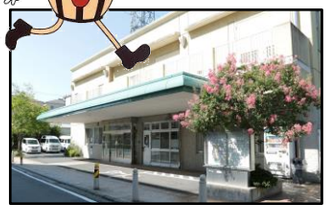
なかま通信 夏号

発行No:003　発行月：令和4年7月　発行元：人材発掘分科会

～法人内SNS紹介vol.2～

シリーズ企画として紹介していきますので見てみて下さい！是非フォロワーにも♪

【樽町地域ケアプラザ】



【きっかけ】
ケアプラザの情報を地域の方へ発信するため、「ホームページ委員会」を立ち上げたことです。

【ポイント】
ケアプラザ事業のPRや、現在ご利用の方、これからご利用される方へ日常のデイサービスを情報発信しています。講座やサークル活動、サロン、ボランティアなど『行ってみようかな』と興味を持ってもらえるように心がけています。また、デイサービスでの風景をインスタグラムでも発信しています。食事やレク、作品紹介、イベントなどをご家族にも楽しんでもらえるように心がけています。

【どんとこい・みなみ】

作業室４

【きっかけ】
コロナ感染拡大により、ご利用者が「他者と交流したい」「地域や他の部屋と交流したい」と目標を立てているにも関わらず、その達成に向けては難しい状況となりました。何か新しい方法で目標に迫る事が出来ないかと思案し始める事にしました。

【ポイント】
・ご家族向けに「活動の見える化」を意識しています。連絡帳の文章では伝わり辛い「創作物」などを中心に載せることで、活動の内容を分かりやすくしています。
・同業他社や業界外などからも、フォローをして頂きたいです。芸術家、スポーツ選手など現実には関りがあまり持てない方とSNS上で「交流」を実現していきたいと考えています。

報告　新任職員研修　開催

令和4年3月27～28日の2日間で38名（新任21名、中途17名）の方対象の新任研修をおこないました。研修では横浜共生会について知ってもらい、一緒に働く職員、社会人として働く心構えを学んでもらいました。これから、嬉しい事も辛い事もあるかと思いますが、同期の絆、法人の絆で輪を広げていけたらと思っています。
38名の皆さん、よろしくお願いします！

採用説明会情報

例年3月～5月は説明会への来訪者が多い月です。今年も東京福祉大学、関東学院大学、田園調布学園大学、大正大学、日本体育大学、東京家政大学、武蔵野大学、聖徳大学など多数の大学から来られました。6月には久しぶりのWEB参加もいました。自分の出身校にぜひ宣伝をお願いします♪

人物探訪録

第003号

～横浜共生会で活躍している職員を訪ねて…～

しんよこはま地域活動ホーム

吉田　哲也(よしだ　てつや)係長

知的障害のある方の通所施設に4年間勤務し、入所施設で働きたいと横浜らいずに入職。らいずの重鎮になり、心機一転しんよこへ異動。

高橋　雅光(たかはし　まさみつ)副所長

建築業界で働いていたが、売れないとすぐに地方転勤などがあり、大丈夫か？と、新聞の求人欄で見つけた横浜らいずに入職。その後白馬に乗って異動。しんよこのプリンスとして所長を支える。

本田　和徳(ほんだ　かずのり)所長

別法人の身体障害者療護施設(当時)で11年。横浜共生会に転職し、ほっと館宇宙5年、その後しんよこへ。現在はただのカリスマ。

日頃の業務に多く口を挟まないが、現場が困ると直接介助・送迎・夜勤などを管理職で取り合う(奪い合う？)こともしばしば。

そんな3名にまず今の仕事で大事にしていることを伺うと、
「笑顔で話していくこと」
「人権ってなんだろうと考え続けること」
「なんとかなる(する)精神」　と三者三様。
重ねて管理職として大事にしていることも伺ってみると、
「何とかなるさとマインドコントロール」
「できるだけ話を聞いていく」
「管理職としてということであれば『ヒト・モノ・カネ』」
とこれまた三者三様。

それぞれプライベートでの息抜きには、家族で行きつけの味噌ラーメンを食べに行ったり、寝る、ドライブ、酒を飲む、好きなことを好きに過ごすと言う。

管理職もただの人。ただの仲間。

現場勤務に入りながら、自身も地活職員としての自覚を持ち、また職員への配慮を忘れない様子が伺える。
初めに将来のビジョンなどを伺うと、即答で「荒稼ぎ」と冗談(？)を言い、現場職員からこれまた即答で「却下！」と言われる始末。
コミュニケーションをとっていくこと、人権意識等の対人援助職としての大事な基本を考え続け、現場職員を気に掛けてくれる3名のアンサンブルだからできるしんよこの雰囲気。
管理職として現場に求めていることは、挨拶、笑顔で前向き、ポジティブシンキングとのことで、それが実行できるような配慮を忘れない3名だった。
職場紹介になってしまったという反省はありつつも、【なかま】探訪として、法人で一緒に働くなかまの力になりますよう…

次号もお楽しみに…